

エンタープライズアーキテクトの役割と育成の研究 ー日本企業におけるエンタープライズアーキテクトの あるべき姿ー

アブストラクト:

近年、海外では企業システムの全体最適を担うエンタープライズアーキテクトの需要が高まっている。しかし、日本においてはデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が求められる中、その普及は進んでいない。

本研究では、日本企業に適合したエンタープライズアーキテクトの役割、および運営（育成含む）が存在すると仮説を立て、日本企業に適合したエンタープライズアーキテクトのモデルを策定する。

求人情報、企業アンケート・インタビューによりデータ収集し、分析を実施。調査の結果、日本企業におけるエンタープライズアーキテクトの役割は、「策定」「実装」「統制」の三つのカテゴリに分類され、この役割を組織的に運営することが有効であることが明確になった。また、エンタープライズアーキテクトの育成には、専門分野で実力を持つ人材に対して、TOGAF（アーキテクチャ設計の国際的なフレームワーク）を用いた基礎知識の習得を促し、さらにローテーションを通じてビジネスとITの両面に精通した人材へと育成する方針を示した。

エンタープライズアーキテクトの役割モデル、組織運営モデル、育成モデルを策定し、その有効性を、有識者評価を通じて確認した。

今後、本研究のモデルを活用することで、エンタープライズアーキテクトの普及が促進され、日本企業におけるDXの加速が期待される。

キーワード:

エンタープライズアーキテクト（EA）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、役割、組織、育成